More Jobs
Better Lives

年次報告書
２０２０

2019/8/1-2020/7/31

More Jobs Better Lives
公益財団法人

MJBL

目次 ・・・・・1

MJBLの「原点」 ・・・・・2

設立趣旨

ミッション ・・・・・3

summit

MJBLの「事業」

事業分野／事業概要 ・・・・・4

外国人留学生 支援事業 ・・・・・5

外国人技能実習生 支援事業 ・・・・・7

外国人技能実習生 受入農家支援事業 ・・・・・9

事業対象国 ・・・・・11

MJBLの「影響力」 ・・・・・12

影響力

MJBLの「Road Map」 ・・・・・13

Road

MJBLの「法人概要」 ・・・・・14

法人概要

雇用の力で、世界中の人々に豊かな暮らしを

設立趣旨

2015年4月25日、ネパールカトマンズでM8の街を崩壊する大地震が起きました。その時、僕たちはエベレスト中腹の６４００m地点アドバンスドベースキャンプにいました。エベレスト登山を目指す僕をサポートするシェルパは総勢１３名、そのそれぞれに家庭があり生活があります。

エベレストを含むヒマラヤ登山は２ヶ月程の長いキャンプのため、食料などを運び込むシェルパの存在が欠かせません。彼らと寝食を共にする長期キャンプは、言わば家族のような関係を築きます。カトマンズで起きた地震は、そのシェルパの人たちの生活を例外なく変えました。その大惨事の中、これまでお世話になったシェルパを含むネパールの人たちに自分たちができることはないだろうか。考えた挙句、ネパールでの起業を通じてネパールに仕事を作ろうと言うことになったのです。

ネパールは、1日２ドル未満で生活する人の割合が７０％を超えるアジア最貧国です。上は中国、下はインドの大国に挟まれ、国土のほとんどが山間部で、貿易に重要な港はありません。また、計画停電しなければ成り立たないような状態です。そのため、事業プランは、商業、工業では現実味が無く、農業や林業など現地ですぐに行えるものに限定されました。一方、事業の唯一の活路は、中国、インドの大国に挟まれた立地故に、ネパールには世界各国の大使館の数が多いということでした。各国の大使館などで働く一定の所得がある人たちに買ってもらえるものは何だろうか？ネパールの地で作り、ネパールにいる外国人に売れる農作物は？出した結論は、「日本産のイチゴをネパールで作り、それを現地の外国人など高所得者に販売する。」ということでした。

日本に帰国後、開発特許の切れたイチゴの苗を３０００本買い付け、空輸してたら枯れてしまうので、１２０リットルのスーツケース２つにいっぱいに詰め込んでハンドキャリーしました。それを山間部にあるカカニ村の農民たちに無償で配りました。彼らにお願いした条件は一つだけ、受け取ったイチゴをきちんと育てること。育ったイチゴは僕たちが１キロ３００ルピーで必ず買い取ることを条件にしました。僕たちの試算では、１農家が年間育てられるイチゴの生産量は概ね平均２０００キロ、キロ３００ルピーで買い取りますから、１農家の収入は年間６０万ルピ−になります。 それは家族５人を養うに足る収入となります。

次に、買い取ったイチゴを各国大使館、ホテル、スーパーなど、カトマンズ市中に売りに行きました。高品質なイチゴは、僕たちの想像以上に売れました。売れたイチゴから出る利益は、すべて新しいイチゴの苗の買い取り資金に充て、その買った苗をまた新しい農家に無償で配る。それを繰り返し、このプロジェクトを開始した2015年10月から３年間で、６０を超える契約農家に増えました。１農家５人の雇用だとして３００人分の仕事につながりました。スーツケース２つ分の苗が、わずか3年後に３００人の仕事につながったのです。このようなプロジェクトを、仕事を必要としている地域や国に広げていきたいと考えています。

2018年8月。More Jobs Better Lives財団、活動の目的そのままを財団名に掲げました。

いま世界の失業者は２億人を超えます。僕たちにできることを、一つひとつ時間をかけて真剣に取り組み、目の前にいる人や、起きていることに感情移入しながら、その活動範囲を広げていきたいと思います。

代表理事　若山陽一

Mission

More Jobs Better Lives

より多くの仕事で、より良い人生を

Summit

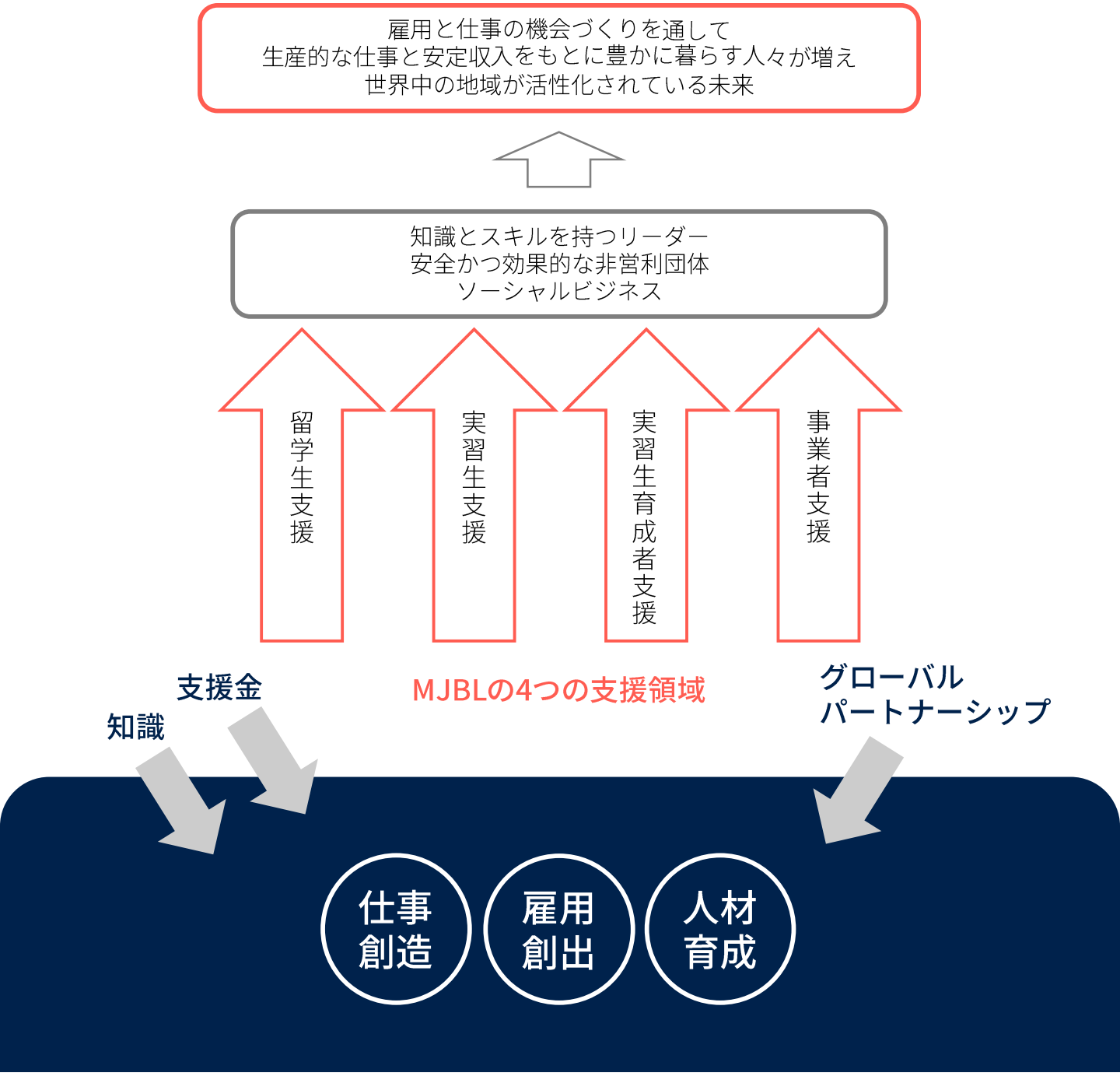
世界で100万人の雇用創出

～開発途上にある海外の地域～

事業分野

仕事創造 ／ 雇用創出 ／ 人材育成

事業概要



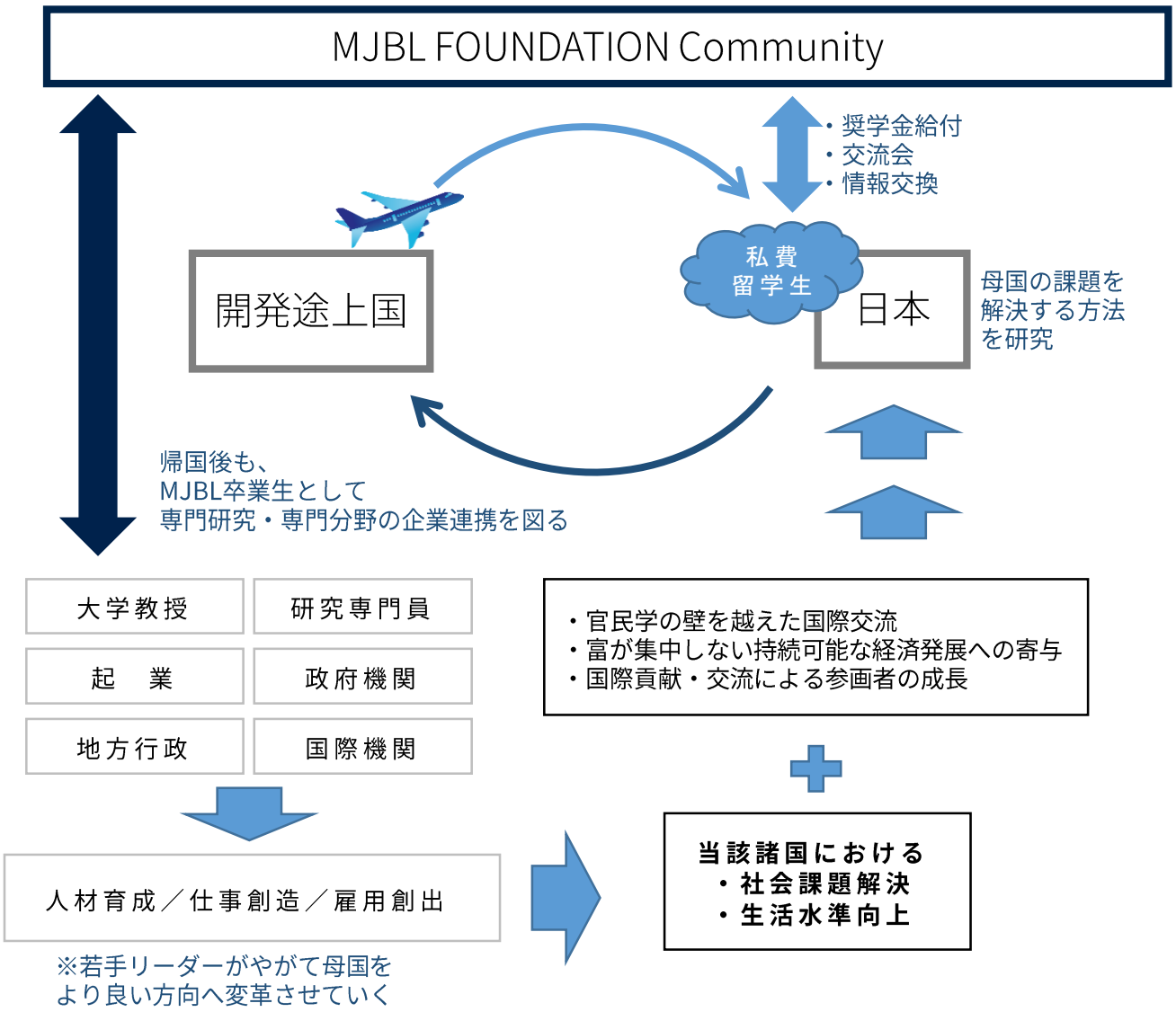
外国人留学生 支援事業

私費留学で来日し経済的支援を必要としMJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に繋がる活躍が期待できる留学生に対し奨学金を給付し、現在の「学び」「研究」を支援し、母国の発展に寄与する。

実績

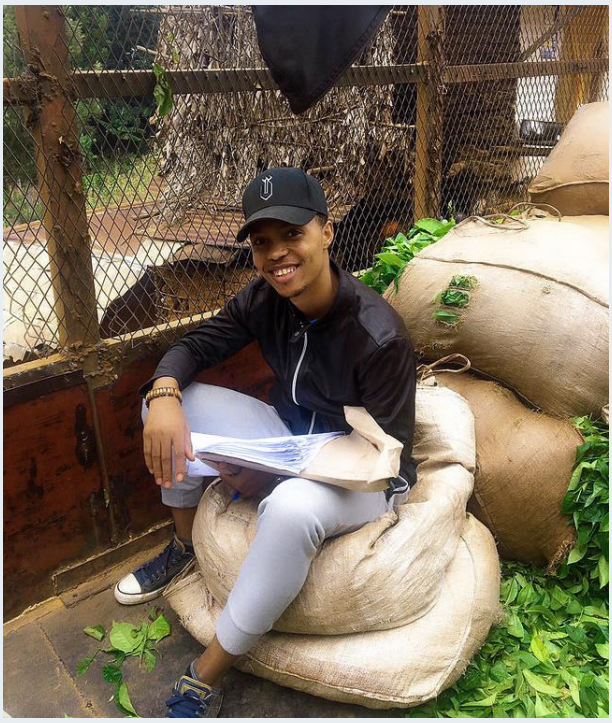
国　名	人数
アフガニスタン・イスラム共和国	1
バングラデシュ人民共和国	1
タンザニア連合共和国	1

事業図



MJBLを選んだのは、
僕と同じミッションを掲げているから

影響力



「僕は、起業家として帰国後に頑張りたい。アグリビジネスを作って、雇用を生み出したい。地域のロールモデルになりたい。そして、子供たちが安心できる空間である託児所をつくりたい。

イサさん
留学生　タンザニア出身

～留学中の春休み等を活用して帰省し、母国にて積極的な活動を展開～
イサ氏の個別活動（ボランティア）の紹介・・タンザニア公立学校でセミナー等開催
・潜在能力を伸ばすための努力と創造的であることの重要性
・明確に定義された目標を設定することの重要性　など

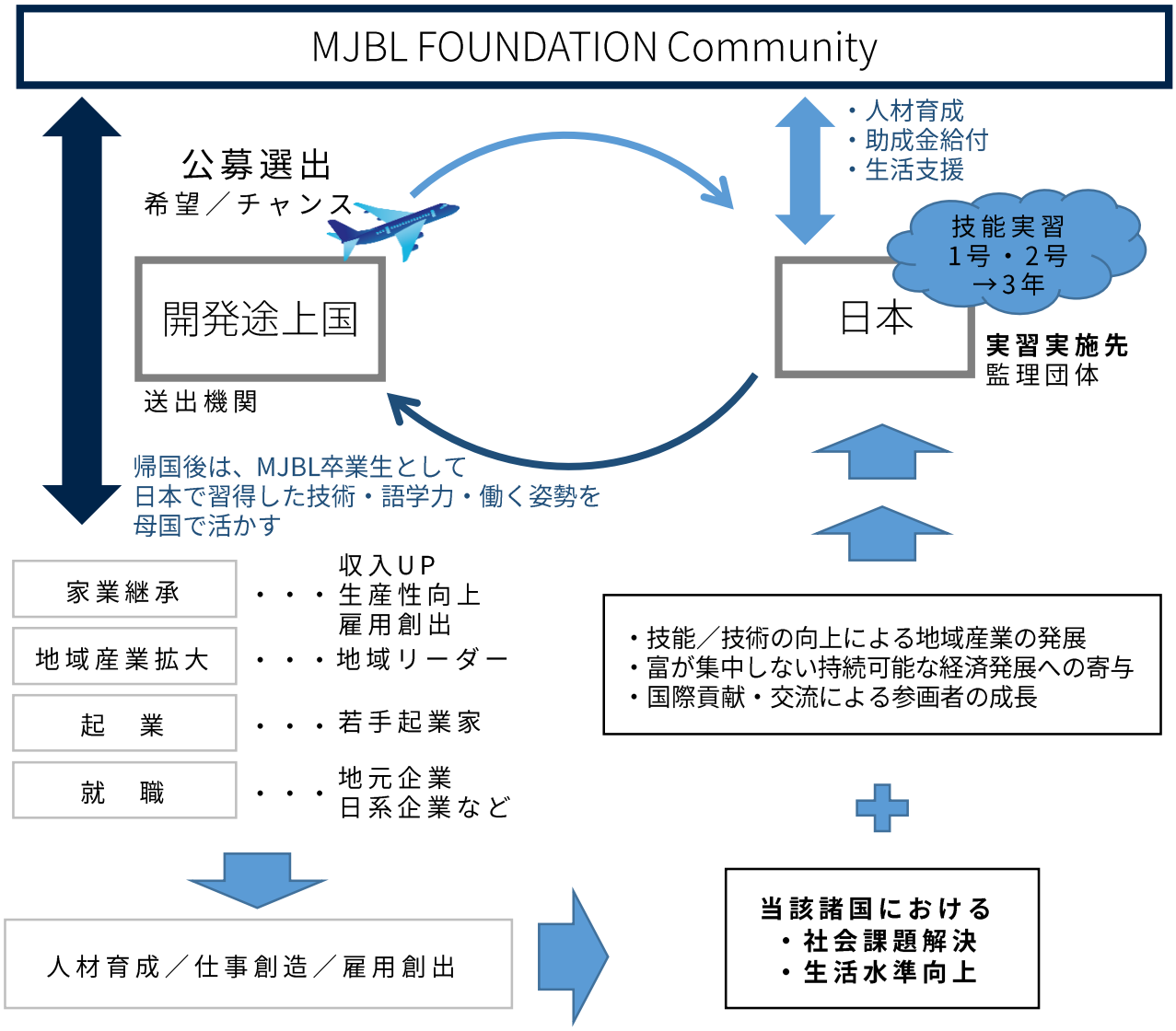
外国人技能実習生 支援事業

外国人技能実習制度を活用して日本で技能や技術を学び、MJBL財団の目的である「母国の生活水準の向上」に寄与することが期待できる実習生に対して助成金を給付し、日本での生活を支援し、母国の発展に寄与する。

実績

国　名	人数
ネパール連邦民主共和国	4

事業図



新しい技術や技能を学んで地域の人々に伝えたい
生産数や品質を向上させたい

影響力

「新しいことを学んだら、すぐにお母さんに教えてあげたい。そして、日本から帰ってきたら、いろんなネパールの人に教えたい。

←　シャハンシラさん
実習生　ネパール出身

日本で勉強して、ネパールに帰ったら、農地を広げて周りの人にも教えたい。MJBL Foundationでこんなことを学んだんだよ！というモデルになりたい。自分の野菜や団体を作って、ネパールのマーケットをどんどん広げていきたい。

ラムさん　→
実習生　ネパール出身

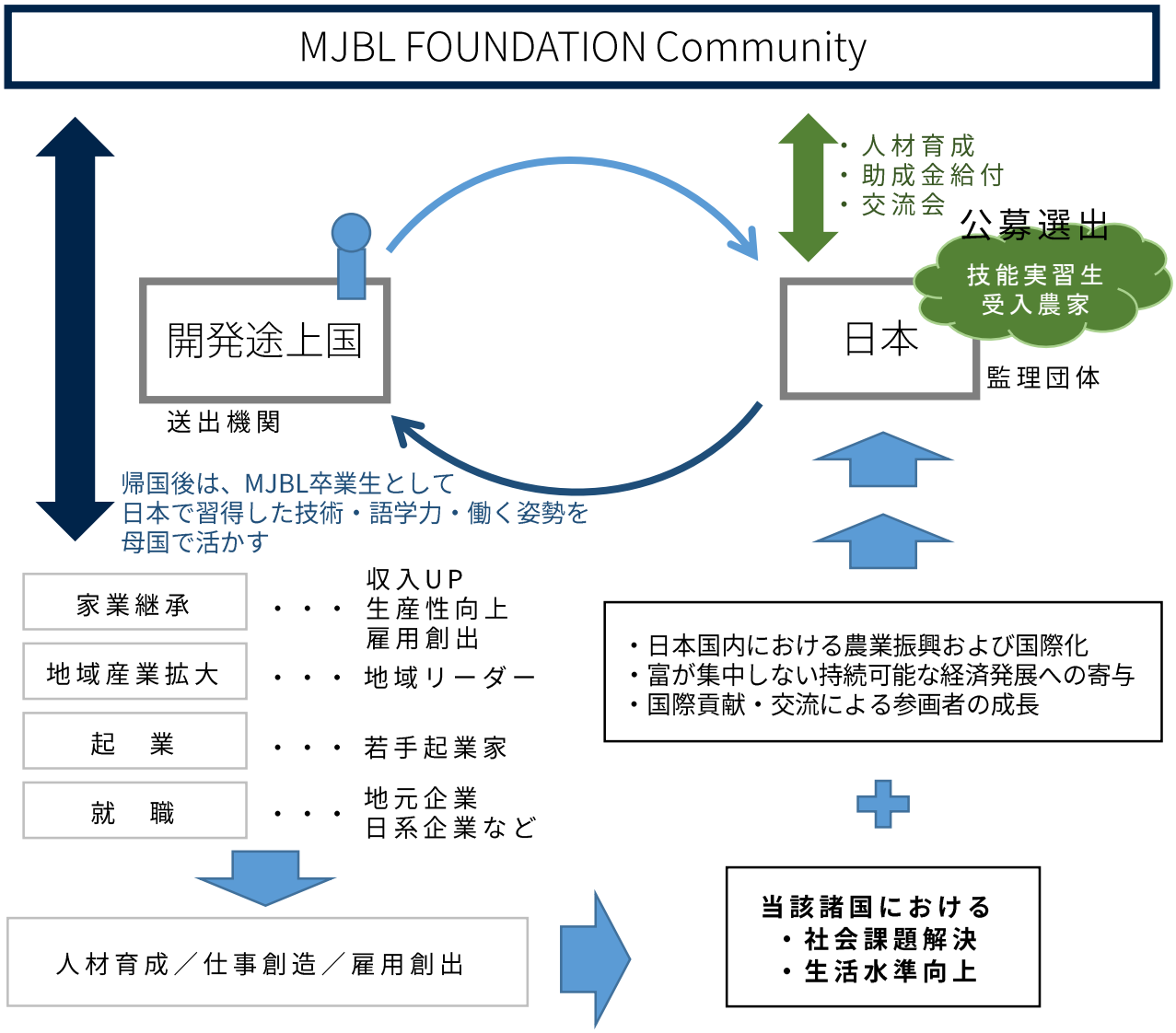
外国人技能実習生受入農家 支援事業

MJBL財団と協力・連携し外国人技能実習生を受入れる実習実施先に対し助成金を給付する。そして、人材育成の場所である実習実施先を広げることによってMJBL財団の目的である「開発途上国の生活水準の向上」に寄与する。

実績

都道府県	実習実施先	対象実習生	
		国名	人数
茨城県	1	ネパール	2
栃木県	1	ネパール	2

事業図



どのようなことを教えれば参考になりそうか、しっかり考えて教えていきたい

影響力

現地視察をしたとき、ネパールの農家は日本とは全く違うという印象でした。設備から育て方まで、丸々違う。どのようなことを教えれば参考になりそうか、しっかり考えて教えていきたいと思います。

鈴木さん
農家　栃木県

リモート交流

ネパール↔日本

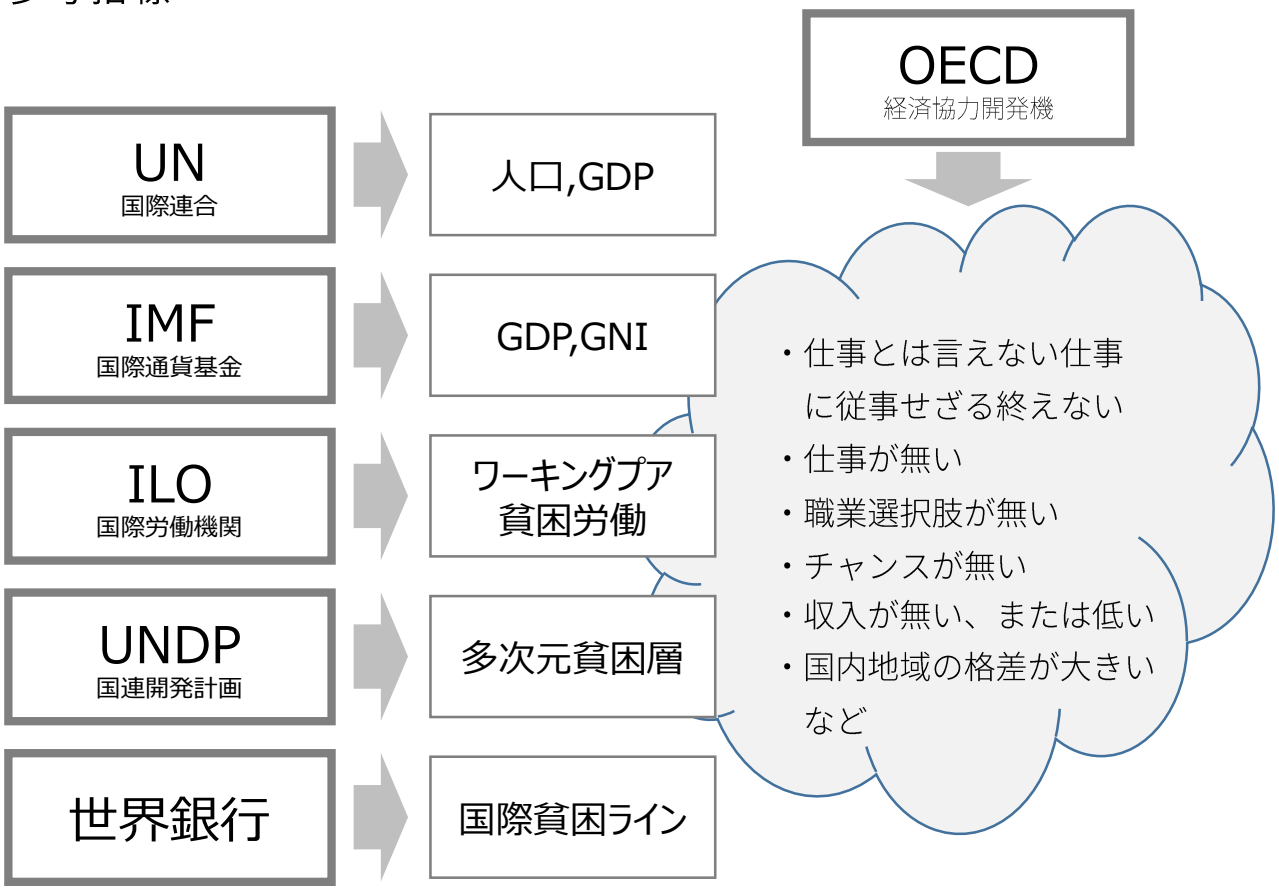
事業対象国：開発途上国
開発途上にある海外の地域→DACリスト（OECD)

対象範囲

DAC援助受取国 (DAC List of ODA) 2018-2020	後発 開発途上国 LDC	その他の 低所得国	低中所得国 および地域	高中所得国 および地域	計
国数	47	2	37	57	143

◇開発途上国とは
経済協力開発機（OECD）の開発援助委員会（DAC）が作成する「援助受取国・地域リスト」（DAC リスト）に記載されている国や地域　（※3年毎の見直しがあります）

参考指標



１つ１つの活動の「点」が、やがて線に・・・。

MJBL財団の活動はまだまだ小さく繋がりも少ないです。小さな１つ１つの活動の影響力が広がりや協力、連携関係を生み、やがて時空を超えてつながり、そして大きな影響力となって地球全体がより良い方向へ進んでいくことを確信しています。

影響力

留学生 支援	数
タンザニア	1
アフガニスタン	1
バングラディシュ	1

実習生 支援	数
ネパール	4

受入農家支援	数
茨城県	1
栃木県	1

Road

仕事創造、雇用創出、これからの時代を担うリーダーの人材育成を通して、世界で100万人に影響を与え、地球全体をより良くしたい！

2030年
世界で100万人の
雇用を創出する

現地で必要なことを、現地で実行する力。これこそが世の中を動かしていく原動力になると確信しています。

2018年8月 財団設立

2019年9月 選出
・受入農家 2軒

2019年12月 選出
・留学生 3人
・実習生 4人

2020年2月
・公益認定取得
→公益財団法人へ

2020年7月現在 支援数
・留学生　3人
・実習生　4人
・受入農家　2軒

留学生の皆さん：交流会

実習生の皆さん：交流会

法人概要

名　　称	More Jobs Better Lives 公益財団法人 （※略称：MJBL）
住　　所	東京都渋谷区道玄坂1-12-1　渋谷マークシティW16階
設 立 日	2018年8月1日（※公益認定日　2020年2月5日）　※決算期7月
代表理事	若山 陽一
TEL / Email	03-4500-8610　／　info@mjblfoundation.org
U　R　L	https://www.mjblfoundation.org
目　　的 mission	More Jobs Better Lives
事業分野 project	仕事創造　／　雇用創出　／　人材育成
公益目的事業	・外国人留学生 支援事業 ・外国人技能実習生 支援事業 ・外国人技能実習生 受入農家支援事業

役　員	氏　名	主なプロフィール　（※順不動）
代表理事	若山 陽一	UTグループ㈱代表取締役社長 兼 CEO
理　事	竹内 洋岳	プロ登山家　㈱ハニーコミュニケーションズ所属　立正大学客員教授
理　事	小柴 正浩	ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパン㈱　代表取締役社長
監　事	浅野 恵理	辻・本郷税理士法人　シニアパートナー　税理士
評議員	本郷 孔洋	辻・本郷税理士法人　代表社員
評議員	岡芹 健夫	高井・岡芹法律事務所　　所長弁護士
評議員	髙谷 裕介	祝田法律事務所　　パートナー弁護士

最後に

新型コロナウイルスの感染により苦しんでおられる方々にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表します。また、世界中で治療や感染予防に力を注がれている方々に、心より感謝いたします。

当財団の事業への影響につきまして、日本並びに各国にて渡航制限や入国制限を実施しているため、事業の一部が中断しております。見通しも不透明ではありますが、関係者様の現況を適時共有し今後の予定の確認やリモートを有効活用し事業推進のために必要な情報を得て整理しておくなど、今できることを行い、現況を確認しながらコロナ後を見据えて活動を行っております。

More Jobs Better Livesをミッションステートメントとして、貧困労働や失業など世界中（開発途上国）で仕事が必要なところに直接及び間接的に仕事創造／雇用創出に資する支援活動を行い、生活水準の向上に寄与することを目的として、仕事創造、雇用創出、人材育成の事業活動を実施しております。その第一歩として、外国人留学生支援事業、外国人技能実習生支援事業、外国人技能実習生の受入農家支援事業を展開し、これからの時代を担うリーダーの人材育成、日本の技術技能の伝承、専門分野の人材育成を実施しております。そして、新事業開発として事業者を支援する事業活動を加え、より大きな雇用創出を目指しています。

私たちの活動はまだまだ小さいですが、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年7月

More Jobs
Better Lives

年次報告書　２０２０

お問合せ先
More Jobs Better Lives 公益財団法人　事務局宛
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティW 16階
TEL:　03-4500-8610
E-mail: info@mjblfoundation.org

Copyright © MJBL Foundation Inc. All Rights Reserved.